

公民館報

No. 86

(2019 / 7 / 1)

くしもと

編集・発行：教育課

串本町串本2427番地

TEL 0735-62-0006 / FAX 0735-62-6023



表紙文化財紹介

むりょうじ

無量寺

県指定文化財 記念物(史跡)

平成24年7月20日指定

今月の表紙は無量寺です。本寺は、虎関禅師の開山による臨済宗東福寺派の古刹であり、錦江山無量寺と号し、紀州でも屈指の大寺として知られています。元々は袋港の錦江山の麓にありましたが、宝永4年(1707年)の巨大津波により跡形もなく流失。その後、愚海和尚が入院(じゅういん)し、天明6年(1786年)に現在の位置に本堂が再建されました。本寺に深い関わりのある円山応挙、長沢芦雪の障壁画は国指定重要文化財に指定されています。三宝印門跡の熊野入峰の際の休憩の場であり、熊野参詣道大辺路と深い関わりがあることから県史跡指定されました。

「社会を明るくする運動」とは？

「社会を明るくする運動」は犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラはすべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動です。

■地域のチカラが犯罪や非行を防ぐ

テレビや新聞では、毎日のように事件（犯罪）のニュースが報道されています。安全で安心な暮らしはすべての人の望みです。犯罪や非行をなくすためには、どうすればよいのでしょうか。取締りを強化して、罪を犯した人を処罰することも必要なことです。しかし、立ち直ろうと決意した人を社会で受け入れていくことや、犯罪や非行をする人を生み出さない家庭や地域作りをすることもまた、とても大切なことなのです。立ち直りを支える家庭や地域をつくる。そのためには、一部の人たちだけでなく、地域のすべての人たちが、それぞれの立場で関わっていく

必要があります。「社会を明るくする運動」では、犯罪や非行のない地域をつくるために、一人ひとりが考え、参加するきっかけをつくることを目指しています。

■あなたもできることから始めてみませんか

「社会を明るくする運動」では、街頭広報、ポスターの掲出、新聞やテレビ等の広報活動に加えて、だれでも参加できるさまざまな催しを行っています。イベントに参加したり、ホームページを見たことなどをきっかけにして、犯罪や非行のない安全で安心な暮らしをかなえるために、今、何が求められているのか、そして、自分には何ができるのかを、みなさんで考えてみませんか。



■串本町内の取り組み
串本町推進委員会では、重点目標に従い強調月間である7月を中心に年間を通じて、地域社会に貢献することを目的とし、次のような取り組みを行います。

- ① 地域社会における犯罪や非行の防止
- ② 更正保護活動への協力
- ③ 青少年教育の振興と協力の活動
- ④ その他、目的達成のための活動

今年の町内における活動の具体的な内容については、次のとおりです。

6月17日

「社会を明るくする運動」串本町推進委員会総会を開催しました。

6月末から7月1日

啓発用の「のぼり」を町内に設置します。また街頭啓発として、ポールペン、ポケットティッシュ等の配布を行います。



6月～8月末
各小・中学校に依頼し、「社会を明るくする運動」に関する作文コンテストの募集を行います。
7月～11月
町内の各地区においてミニ集会を開き、「社会を明るくする運動」についての知識や理解を深めます。



7月は「社会を明るくする運動」強調月間・再犯防止啓発月間です。

第57回 県美協展串本展

5月29日(水)～6月2日(日)の5日間、串本町立体育館において、和歌山県美術家協会、串本町教育委員会、串本実行委員会主催による、第57回県美協展串本展が開催されました。

会場には県美術家協会による洋画、日本画、書、写真、工芸、彫塑の六部門計二百十四点の作品が展示されました。

開催5日間で町内外から六百二十一人が訪れ、それぞれの作品に興味深く鑑賞していました。

串本町からは次の皆さんが出品されました(敬称略)。

- 【洋画】植野 禎 福島 志津子
- 【書】住吉 紀富



当日の様子

古座地区演芸会

6月8日(土)午後7時より古座小学校体育館において、第34回古座地区演芸会が開催されました。古座公民館の杉本喜秋支館長の挨拶にはじまり、17団体が歌や踊り、レク体操等を披露しました。個人でのカラオケをはじめ、古座・中湊の婦人会、商工会女性部など地域の多くの方が参加しての演芸会となり大変な賑わいをみせていました。



平成6年より公民館報編集委員として公民館報の発行にご尽力いただきました赤松徳二氏が、平成31年3月31日をもって公民館報編集委員を退任されました。
ご退任にあたり長年のご功労に対し、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

串本町図書館より 6月の新着図書

【一般図書】

※こうして誰もいなくなった 有栖川 有栖

※父と私の桜尾通り商店街 今村 夏子

※家康に訊け 加藤 廣

※胎児のはなし 最相葉月・増崎英明

※囲碁の学び 黒堀 秀三郎

※親が喜ぶ作りおきごはん 今泉 久美

【児童図書】

※とらんぼりん ぼーん

※かいけつゾロリ ロボット大さくせん 原 ゆたか

※いまからともだち ぐすのき しげのり

※ゆびさしな〜に? とよた かずひこ

※フリーズドライのひみつ 山口 育孝

他

6月1日(土) 新宮市の東牟婁総合庁舎にて、東牟婁地方青少年育成県民運動推進委員連絡協議会、公益社団法人和歌山県青少年育成協会主催の「少年メッセージ2019 東牟婁地方予選会」が開催されました。東牟婁郡内から16校16名(申本町内からは4校4名)の中学生が、今思っていることや、感じたことなどをテーマに作文を発表し、申本町からは、申本西中学校3年の深海六花さんと、西向中学校2年の岡野明音さんが優秀賞に、潮岬中学校2年の坂井美優さんが奨励賞に選出されました。

優秀賞に選出された深海さんと岡野さんは、7月27日(土)に橋本市で開催される県大会に東牟婁地方の代表として出場することになりました。優秀賞は次の作文です。



入賞者の皆さん

優秀賞

「幸せの創造」

申本西中学校3年 深海六花



「人として生まれたからには、人へ幸せにする義務がある。」

これが私のモットーだ。気がついた時から、このモットーは私の中にあつた。それは私が小学生だった頃の体験が基になっているのかもしれない。

私は小学生の頃、いじめを受けていた。原因は、今思えば私が空気を読むことがとても苦手で、クラスで浮いた存在だったことだと感じている。毎日のようにクラスメイトからは、「キモイ」「ウザイ」などの誹謗中傷を浴びせられ、家に帰ったら母にその話を聞いてもらう、灰色の日々であつた。毎日暴言を受け続けたので、「これが普通」と感じるようになって、いじめアンケートには「いじめ

られていない」と回答していた。それでも学校は楽しいと感じていた。勉強が、学ぶことが、好きだったからだ。だから将来は研究者になりたいとなんとなく考えていた。しかし、いじめは学年が上がるごとにエスカレートしていった。私の名前の入った口に出すのも辛い程の文章が下駄箱の中に入っていたこともあつた。私や親の精神は限界を迎えはじめ、五年生の最後、転校することを決断した。転校をクラスメイトに伝えた修了式の1日前。今日は平穩に過ごせるかと思っていたが、その希望は大きく外れた。靴の中がらくたやガラスがばんばんに詰められていたのだ。

辛かつた。

この一言で今までのことを語るの十分であつた。

「あの頃」は私の人生の中で一番、暗くて、黒くて、辛くて悲しくて……そんな頃だつた。

転校してからは、いじめは全くなくなった。安心して勉強ができる環境になり、学校へ行くことが楽しくなつた。バラ色の日々になつた。幸せだ。

そんな時、あるニュースを観た。中学生が耐えられないいじめによつて生きることが辛くなり、自ら命を絶つたというニュースだ。いじめがたつた一つの命を奪ってしまうのだ。

いじめは幸せを壊し、人生を奪う。そんな恐ろしいものだったなんて。心の中に言葉が浮かんだ。「命は一つだけ、人生は一度きり。」

そして私は決心した。「たつた一度きりの人生、自分も含め人を幸せにするために使いたい。」

中学校に入学して三年目の今、私は生徒会長とテニス部のキャプテンを勤めている。運動も人をまとめることも苦手で、上手くいかないこともある。でも、生徒会のメンバーや後輩に助けってもらいながら、少しでもみんなの役にたつように、みんなが学校生活を幸せだと感じる事ができるようにという気持ちで頑張っている。もし、あの頃の経験がなかったら、母に話せていなかったら、転校することもなかったら、苦手なことに向き合つて人の役にたきたいと思えたかどうかは分からない。

今もテレビからはいじめ・虐待・悲しいニュースが流れてくる。それを見るたびに心が痛む。文部科学省の調査によると、昨年度のいじめの件数は四十一万四千三百七十三件と過去最高になつたそう。他にも、私のようにいじめの件数に挙がらない人達を合わせると、更に膨大な人数になるだろう。日本には幸せになりたくてもなれない子どもたち「あの頃の私」がたくさんいるのだ。私にできることは何だろうか。運

動すること、空気を読むこと、苦手なことは多い。でも、私は勉強が好き、考えることが好きだ。毎日の学習を積み重ね、将来は研究者として、悲しい思いをする人が幸せになる何かを研究していきたいと考えている。

私は、誰にでも良いところはあつたと思う。一人一人が自分の長所を少しでも人の幸せのために使うことができたなら、悲しい思いをする人は減るのでないだろうか。

「人として生まれたからには、人へ幸せにする義務がある。」これが私のモットーだ。

優秀賞

「夜空に輝く星を見上げて」

西向中学校2年 岡野明音



あの朝の出来事は今でも鮮明に覚えています。父は、仕事に向かう途中、対向車の大型トラックの居眠り運転が原因で、命を落としました。いつもと変わらず元気に家を出た父は、数分後、帰らぬ人となつてしまつたのです。まさか、父がそんな目に遭うなんて、想像もしませんでした。父の命を奪つた運転手は現行犯逮捕され、罪を認めました。しかし、私たち遺族に対する謝罪の言葉は一度も聞いたことがありません。事故からしばらくして、裁判が始まりました。私は現実を受け入れることができず、怖くてその場に行けませんでしたが、父の無念を晴らしたいという私達の思いが届いてくれることを強く願っていました。判決は、禁錮二年、執行猶予五年、執行猶予付きの判決は、刑務所に入らないことを示しています。それを聞いた時は悔しくてたまりませんでした。加害者に前科がないだけで、この程度の判決になるのでしょうか。意図的ではなくても人を殺したことは変わりないのに……。運転手が眠気を感じた時点で運転するのを止めていたら、少しでも休憩を取っていたら、事故を防ぐことができたのではないのでしょうか。私はこの判決に全く納得がいきません。

昨日まであんなに元気だった父が、どうして……。昨年の二月二十四日。私の父は交通事故でこの世を去りま

私たちが家族は、きちんと罪が償われるように日本の法律が変えられることを強く願っています。父の命を奪つた加害者を許すことは、これから先も一生できないと思います。事故の原因となつた「居眠り運転」が、どれだけ残酷な結果を引き起こすのかというのを、一人でも多くの人が知ってもらいたいと思います、今この場所です話しています。こうやって思いを伝えていくことが、今の私にできる精一杯のこと、私の使命だと思っています。

今、父が命を落とした事故現場には、もう二度とこのようなことが起こらないように、という意味で、注意を促すライトが設置されています。これを見て「事故を起こさないように気をつけよう」と少しでも思っていて欲しい。父もそれを望んでいると思います。

夜空に輝く星を見ると、いつも優しく笑つた父の笑顔が浮かんできます。父が亡くなる前、丁度その頃の私は父に反抗的で、いつも冷たい態度をとっていました。あの朝、家を出て行く父に話しかけていたら、命を落とすことはなかったのではないかと数え切れない程の後悔があふれてきます。

もつと笑顔で、もつと優しく接していれば……。ささいなことでも、日頃から感謝の言葉を伝えていれば

……。当たり前のことなど何一つない、当たり前のことなどがどんなに幸せなことなのか、私たちが家族はこの出来事によつて気付かされました。皆さんも、自分の大切な人には今しか伝えることができないという思いを持って、勇気を出して素直な気持ちを伝えてみてください。私にもう、直接父に感謝を伝えることはできませんが、それでも私は、これから先もずっと、父への感謝の気持ちを忘れず生きていきます。

最後に、父へのメッセージを述べさせていただきます。お父さん、突然の事故、一生会うことも話すこともできなくなつて一年以上も経つてしまつたね。中学校の制服姿も見てもらいたかつた。何事も真剣に取り組んで、辛いことがあれば一緒に悩んでくれて、誰よりも努力を惜しまず、誰よりも優しいお父さん。私もお父さんのような大人になります。だから、ずっと私を見守っていてください。お父さん、ありがとう。



大島プール プール清掃実施

大島プールの開放開始を前に6月14日(金)にプール清掃を行いました。当日は、大島小学校の児童に加えて保護者、大島区の方々が応援に駆けつけてくださり、学校だけではなく地域をあげての大清掃となりました。小学生達はモップやたわしでプールの清掃に励んでくれました。大島プールについては、7月1日より一般開放を開始します。(詳細は本項下部参照)



大島プール営業について

- 使用期間 7月1日(月)～8月31日(土) 10時から16時まで
- 使用料 左記表のとおり
- 大島小学校プール水泳指導日 次の日時は、大島小学校のプール水泳指導のため、貸し切りとさせていただきます。
- 7月8日・12日(悪天候による予備日9日・11日) 12時から15時まで貸し切り
- 7月17日・22日・23日・24日(悪天候による予備日18日) 10時から12時まで貸し切り
- 7月10日・16日 10時から15時まで貸し切り

※なお、天候等の状況により臨時休業することもありますので、「了」承ください。
 □お問い合わせ 串本町教育課社会教育グループ TEL 62-0006

串本町大島プール使用料		区分	料金
串本町民	一般	中学生以下	無料
		個人使用	1人につき200円
	団体使用(10人以上)	1人につき150円	
		高齢者等	無料
上記以外	一般	中学生以下	1人につき100円
		個人使用	1人につき300円
	団体使用(10人以上)	1人につき200円	
		高齢者等	1人につき200円

備考
 1. 入場1回の使用料とする。
 2. 高齢者等とは、次の各号のいずれかに該当する者をいう。
 (1) 70才以上の者 (2) 身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の所持者 (3) 介護保険法(平成9年法律第123号)の規定により、要介護状態又は要支援状態として認定された者
 3. 小学生未満の使用については、付添人があるものに限り許可する。



灯台 『紫陽花』

時代が令和に変わって二ヶ月が過ぎます。皆様は、令和に馴染まれましたか?.....

二十四節気——「芒種」から「夏至」に移りました。長雨、人間が生活する上では多少の不便もありますが、植物、お花は雨が降る度に元気に生き生きと咲き私達の癒しになっています。「紫陽花」最近華やかな色合いの品種が増えていきます。花の色が様々に変化するので、「七変化」とも呼ばれています。

紫陽花で思い出す風景は、京都大原の里の三千院、そして長崎のグラバー邸の庭に咲いた紫陽花です。紫陽花は、長崎でシーボルトが「お滝さん」を愛したことから、「おたかさ」とも言います。



長崎出身の歌手「さだまさし」の数々ある歌の中で、「長崎小夜曲」があります。



【疲れた時には帰っておいで…… 悲しみはいつか紫陽花の様に おだやかに色を変えてゆくはず】
 (作詞作曲: さだまさし) / 「長崎小夜曲」
 JASRAC 059-3568-4からの引用

優しい歌ですね、長崎の歴史は原爆投下による悲惨な現実、犠牲がありましたが、復興し現在は異国情緒あふれる素敵な街になっています。稲佐山からの長崎の港の夜景は、宝石箱です。

庭には、ご近所さんから苗木をいただいた、真っ白いアナベル(紫陽花の一種)が咲いています。色を変えることの無いアナベルですが、その凛とした美しさに感動しています。長崎は私の好きな街ですから、いつかまた行ってみたいです。

『信楽焼』

滋賀医科大学付属病院に勤務していた頃、休日になると病院の裏道を通って、信楽に行っていました。私と同じような大小様々な「狸」くんが並べられていて、ホッと笑いながら仕事のストレスを解消していました。

信楽焼は、滋賀県甲賀市を中心に作られる陶器で、日本六古窯のひとつに数えられます。信楽は付近の丘陵から良質の陶土が出るので、狸くんをはじめ様々な置物や食器が作られています。窯元に嫁いだ友人の食器が総て信楽焼だったことを思い出します。

秋からNHKでは、連続テレビ小説101作目、「スカレット」が放送されます。焼き物の里、信楽に生きる女性陶芸家の波瀾万丈な物語……、故郷に思いを馳せながら、放送を見る事を楽しみにしています。



『腎移植の青年』

母から腎移植を受け、手術後入室した集中治療部(ICU)で全身麻酔から覚醒した青年は泣いていました。

「母は大丈夫ですか? ありがとうございますと伝えてください。」 ナースとして腎移植の患者さんのケアをしてきました。若年からの腎不全で、透析療法を行ってきたA君は成長ホルモンが吸着し排出され、私と同じ歳でしたが、華奢な青年でした。術後は合併症もなく尿が流出し、一般病棟に移りました。

A君は退院時、元気な姿でICUに挨拶しに来てくれました。あれから35年が経ちます。A君はどのような人生を歩んでおられるのでしょうか? 医療現場を離れて28年、浦島太郎子(女性なので…)になった私は、今日も犬の散歩をしながら、活躍していた若い日々を思い出しています。



阪本 良子

フラワーアレンジメント教室受講者募集のご案内

教育課では、フラワーアレンジメント教室を下記のとおり開催します。
興味のある方は是非ご参加ください。

講師 前芝 晶子先生
場所 串本町文化センター
日時 第1回 10月3日(木) 19時～
第2回 12月4日(水) 19時～

用意するもの

第1回

- ・花切りバサミまたはキッチンバサミ
- ・マグカップ (高さ 10cm 程度のもの)

第2回

- ・花切りバサミまたはキッチンバサミ
- ・お皿
(パン皿など、直径 20cm 程度のもの)

受講料 各2,500円

申込先 串本町教育課社会教育グループ
Tel.62-0006

第1回はマグカップに可愛らしく、
第2回はお皿にケーキのようにア
レンジメントをしていきます。
お家にあるもので、簡単に楽しく
お花を飾ってみませんか？

教育課よりお知らせ

令和元年度 串本町 小中学生ポップコンクール

- 主催 串本町教育委員会
串本町子ども会連絡協議会
- 応募期間 7月1日(月)から7月19日(金)まで
- 入賞 小学生の部・中学生の部
各部門最優秀賞1点、優秀賞5点を予定
入賞者には賞状と図書カードを贈呈
- お問い合わせ
串本町教育課社会教育グループ
(Tel.62-0006)
串本町図書館 (Tel.62-4653)

昨年度最優秀賞作品



【中学生の部】



【小学生の部】

第16回 盆野球大会

- 主催 串本軟式野球クラブ協会
- 後援 串本町教育委員会・串本町体育協会
- 期日 8月15日(木)
- 予定場所 サン・ナンタンランド野球場ほか
- 申込先 串本町教育課社会教育グループ
Tel.62-0006
- 申込締切 8月8日(木) 午後5時まで
- 抽選 8月8日(木) 午後7時より
串本町文化センターにて
- 参加費 2,000円
- 参加資格

- ・町内在住者、勤務者及び出身者
- ・串本軟式野球クラブに加盟されている方
- ・小中学、高校生の出場は認めない、但し定時制高校生の出場は認める。
- ・大学(軟式、硬式等)、社会人野球に籍を置く者の出場は認めない。
- ・二重登録は認めない。

